

児童朝会 講話 ■令和5年1月30日

No.29 「けが 2」

おはようございます。校長先生の声、みなさん  
の心に届いていますか？

さて、前回のお題は大きなけがをしたことはありますか？という質問に、これまた多くのお友だちが回答していただきました。ありがとうございました。だいたい3対1ぐらいの割合で、大きなけがをしたことがあると答えていたかと思います。結構、みなさんけがをしているのですね。これからは、十分気を付けて過ごしていきましょう。

さて、今回は校長先生の小学校のときの大きなけがの思い出です。

校長先生が4年生の時でしたクリスマスプレゼントで、アシックスのサッカーシューズを買ってもらいました。といっても本格的なものじゃなくて、子供用の靴底に少しいぼいぼがついてるような簡単なものでした。でもとても嬉しくて、サッカーの練習の時だけでなく、いつでもそれをはいていました。

そのころ、校長先生の家では冬休みはいつも埼玉県のおばあちゃんの家に行くことになっていて、その年も家族4人、校長先生、お父さん、お母さん、そして弟のたけしの4人で行きました。おばあちゃんの家の近所に大きな川が流れていて、そこの土手でおしりの下に段ボールを敷いて、滑り台みたいにしていつも遊んでいました。何度も何度も土手滑りを楽しんでいたのですが、その時に事故が起こりました。

校長先生が上から滑っている時、下から弟が滑ってるところをさかのぼりしてきたのです。当然坂の途中で校長先生と弟は正面衝突してしまいました。ちょうど校長先生のサッカーシューズの足と弟の左肩ががちゃんとぶつかってしまい、弟は痛い痛いと大泣きになりました。すぐにおばあちゃんの家に戻り、病院に行こうとしたのですが、どこの病院もお正月と言うことであいていなくて、

そのまますぐに新幹線に乗って大阪まで帰りました。新幹線に乗っているときも、弟は痛いとずっと泣き続けていました。

そして正月明けに病院でみてもらうと、なんと弟の肩の骨が骨折していたことがわかりました。びっくりしました。

弟を骨折させるなんて、ということで校長先生はついぶん叱られたことを覚えています。そこで校長先生は素直にそのことを受け入れることができず、「そうだこれはあのサッカーシューズが悪いんだ。あの靴のうらのイボイボがなければ弟の肩の骨も折れなかつたにちがいない。そうだあの靴のせいだ！」と、サッカーシューズが悪いんだと決め込んで、その靴を握り締めて家を出て、裏山に入り、箕面の山の谷底にサッカーシューズをなげ捨てたのを覚えています。弟には悪いことをしたなあと今でも冬休みの苦い思い出です。また、今から考えると、山に靴を捨てるということで、山の自然にも悪いことをしたと反省しています。

みなさんは、こんな経験はありませんか。もちろんわざと誰かをケガさせてやろうと思う人はいないと思いますが、今回の校長先生のように、偶然けがをさせてしまうこともあるかと思います。弟が逆のぼりをしなければこんなことにはならなかつたことを考えると、ルールを守るということは、自分の身を守るとともに、誰かがけがをされる可能性を下げるということになります。

学校でもたくさんのルールがあります。廊下や階段を走らない、信号を守るなど、しっかりルールを守って、ケガの無い学校をめざしていきましょう。

本日のお題は、皆さんが意外と大きなケガをしていることがわかりました。そこで本日はどこで大きなケガをしたのか、またシールで教えてください。公園、道路でしょうか？あるいは学校の運動場でしょうか？あてはまるところに、シールをお願いします。本日も最後まで聞いていただきありがとうございました。